

野菜の需給・価格動向レポート(平成２７年６月２２日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種 類		5 月の価格情報		6 月の価格情報			7 月	生育及び価格の7月上旬までの見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格 (平年)	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格 (平年)	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格 (平年)		
			下旬		上旬	中旬			
葉 茎 菜		84. 37 67. 20	105	67. 20	68	69	74. 19	・入荷見込量：14,510t (100) ・主産地：千葉 (45)、茨城 (25)、群馬 (7)、東京 (4)	・千葉産は、出荷の終盤を迎えているが、特段の病害の発生もなく生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。茨城産は、干ばつ傾向であったが、最近の降雨により生育は回復傾向で特段の病害もないことから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が平年並み、茨城産の出荷が平年より多めの出荷が見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
		86. 69 81. 66	98	81. 66	91	84	88. 91	・入荷見込量：3,800t (100) ・主産地：愛知 (30)、茨城 (27)、大分 (9)、兵庫 (7)、熊本 (7)	
	 (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ)	264. 10	424	264. 10	403	397	273. 33	・入荷見込数量：3,910t (100) ・主産地：茨城 (63)、千葉 (21)、輸入 (6)	・茨城産は、干ばつの影響により細物の比率が高かったが、最近の降雨により太物の比率が高まり、生育は順調であることから引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、干ばつの影響により生育に遅れが見られ、細物の比率が高く現在平年よりやや少なめの出荷となっているが、最近の降雨により干ばつ傾向から徐々に回復し太物の比率が高まっていることから、今後は平年並みの出荷の見込み。 ・茨城産、千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在平年を大幅に上回っているため、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		334. 73	441	334. 73	462	353	487. 13	・入荷見込数量：200t (89) ・主産地：徳島 (29)、奈良 (45)、香川 (21)、三重 (12)、高知 (7)	
		67. 05	102	67. 05	95	128	58. 82	・入荷見込量：5,130t (95) ・主産地：長野 (63)、茨城 (22)、群馬 (14)	・長野産は、干ばつ後の最近の急激な降雨により一部に品質の低下が見られるものの、全体的には生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。茨城産は、前進出荷傾向であったため、例年より切り上がり早く6月中旬で終了。 ・長野県産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在平年を大幅に上回っているため、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		77. 96	161	77. 96	127	134	62. 79	・入荷見込量2,500t (97) ・主産地：長野 (78)、茨城 (10)	
		376. 10	446	376. 10	487	466	583. 95	・入荷見込量：1,370t (100) ・主産地：群馬 (31)、茨城 (21)、岩手 (16)、栃木 (14)、埼玉 (5)	・群馬産は、最近の降雨により、干ばつ傾向から回復して生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。茨城産は、作付面積の増加に加え、特段の病害もなく生育は順調であることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。岩手産は、最近の降雨はあったものの、干ばつ傾向は解消されていないが、特段の病害もなく生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 ・群馬産及び岩手産の出荷が平年並み、茨城産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。
		396. 89	502	396. 89	519	550	670. 86	・入荷見込量：470t (101) ・主産地：岐阜 (79)、北海道 (7)	
		156. 23	163	120. 13	119	121	120. 13	・入荷見込量：7,990t (100) ・主産地：長野 (74)、群馬 (19)	・長野産は、特段の病害もなく生育は順調で、現在は平年並みの出荷となっているが、天候の関係で定植時期のずれにより出荷が重なることから今後は平年よりやや多めの出荷の見込み。群馬産は、最近の風雨の影響で傷や病気の発生が一部懸念されるが、現在は生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 ・群馬産の出荷が平年並みと見込まれ、長野産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
		165. 00	193	125. 61	125	125	125. 61	・入荷見込量：1,850t (98) ・主産地：長野 (97)	
		71. 02	124	71. 02	114	111	84. 85	・入荷見込量：10,170t (95) ・主産地：佐賀 (44)、兵庫 (18)、香川 (12)、輸入 (7)、愛知 (4)	・佐賀産は、4月の曇天とその後の干ばつの影響で小玉傾向であることに加え、病害も発生も見られることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。兵庫産は、特段の病害は見られず、現在は平年並みの出荷であるが、干ばつの影響により、今後は小玉傾向であることから、平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・佐賀産及び兵庫産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		71. 02	135	71. 02	123	110	84. 85	・入荷見込量：3,600t (80) ・主産地：兵庫 (57)、佐賀 (23)、長崎 (15)	
果 菜		189. 84	205	189. 84	187	225	210. 69	・入荷見込量：7,280t (103) ・主産地：埼玉 (23)、群馬 (16)、福島 (14)、千葉 (9)、茨城 (8)、栃木 (6)	・埼玉産は、現在は作付面積の減少もあり、平年よりやや少なめの出荷となっているが、無加温タイプの作付面積の増加もあり、今後は平年並みの出荷の見込み。群馬産は、最近の降雨もあって干ばつ傾向から回復しており、生育は順調であることから引き続き平年並みの出荷の見込み。福島産は、これから露地物の出荷が中心となってくるが、最近の降雨により干ばつから回復傾向となり、生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 ・埼玉産、群馬産及び福島産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		177. 22	200	177. 22	168	232	221. 71	・入荷見込量：1,600t (99) ・主産地：宮崎 (40)、高知 (17)、徳島 (15)、愛媛 (10)	
		209. 59	312	209. 59	246	261	229. 51	・入荷見込量：9,350t (98) ・主産地：栃木 (22)、茨城 (14)、愛知 (12)、千葉 (12) 熊本 (11)、埼玉 (5)、群馬 (3)	・栃木産は、5月の天候に恵まれ生育は順調であったことから、平年よりやや多めの出荷となっていたが、今後は作型の端境期となるため、平年並みの出荷の見込み。茨城産は、4月の曇天の影響で草勢が弱く、着果不良などの影響で、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。愛知産は、最近の曇雨天の影響から、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・栃木産、茨城産及び愛知産の出荷が、平年並みもしくは平年よりやや少なめの出荷と見込まれることから、価格は平年並みもしくは平年を上回って推移する見込み。
		228. 53	317	228. 53	260	277	271. 33	・入荷見込量：1,900t (100) ・主産地：熊本 (37)、北海道 (23)、愛知 (13)、石川 (8)、福岡 (7)	
		297. 07	370	297. 07	349	357	209. 55	・入荷見込量：4,640t (100) ・主産地：高知 (32)、福岡 (19)、群馬 (12)、茨城 (9)、埼玉 (3)	・高知産は、出荷の終盤を迎え、6月末でほぼ終了する予定であるが、4月の天候不順の影響から、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。福岡産は、出荷の終盤を迎え、徐々に数量は減少傾向となっており、4月中旬までの天候不順の影響で引き続き平年よりやや少なめの見込み。後続の群馬産は、干ばつ気味であった影響で害虫の発生がみられるものの、今後は露地物が増加することもあり、平年並みの出荷の見込み。 ・群馬産の出荷が平年並みと見込まれるものの、高知産及び福岡産の出荷が平年よりやや少なめの出荷と見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		271. 01	360	271. 01	317	326	221. 72	・入荷見込量：1,100t (87) ・主産地：高知 (29)、大阪 (21)、熊本 (15)、福岡 (11)、岡山 (7)、奈良 (6)	
		308. 36	332	251. 50	341	346	251. 50	・入荷見込量：2,440t (100) ・主産地：茨城 (84)	・茨城産は、現在最盛期を迎えているものの、4月上旬までの天候不順の影響で、初期生育が悪かったことから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・茨城産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		283. 10	271	266. 65	290	320	266. 65	・入荷見込量：520t (81) ・主産地：宮崎 (33)、高知 (24)、茨城 (14)、鹿児島 (9)	
根 菜		86. 59	68	86. 59	62	76	94. 60	・入荷見込量：8,240t (100) ・主産地：青森 (51)、千葉 (27)、北海道 (12)	・青森産は、病害もなく生育は順調であることから、やや前倒し傾向での出荷となっており、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、現在出荷の終盤を迎えて、7月上旬で出荷終了する見込み。 ・青森産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		94. 24	72	94. 24	67	85	100. 39	・入荷見込量：2,550t (102) ・主産地：青森 (40)、北海道 (21)、鹿児島 (24)	
		156. 99	171	133. 01	180	176	133. 01	・入荷見込量：6,680t (100) ・主産地：千葉 (81)、埼玉 (8)、輸入 (3)	・千葉産は、出荷のピークを迎えているものの、4月の天候不順の影響から生育にやや遅れが見られ、小ぶりとなっていることから、今後も引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		148. 36	152	132. 62	180	182	132. 62	・入荷見込量：2,400t (97) ・主産地：長崎 (55)、和歌山 (27)、兵庫 (10)	

